

銀河レポート401

No. 30
11月

発行日：平成29年11月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

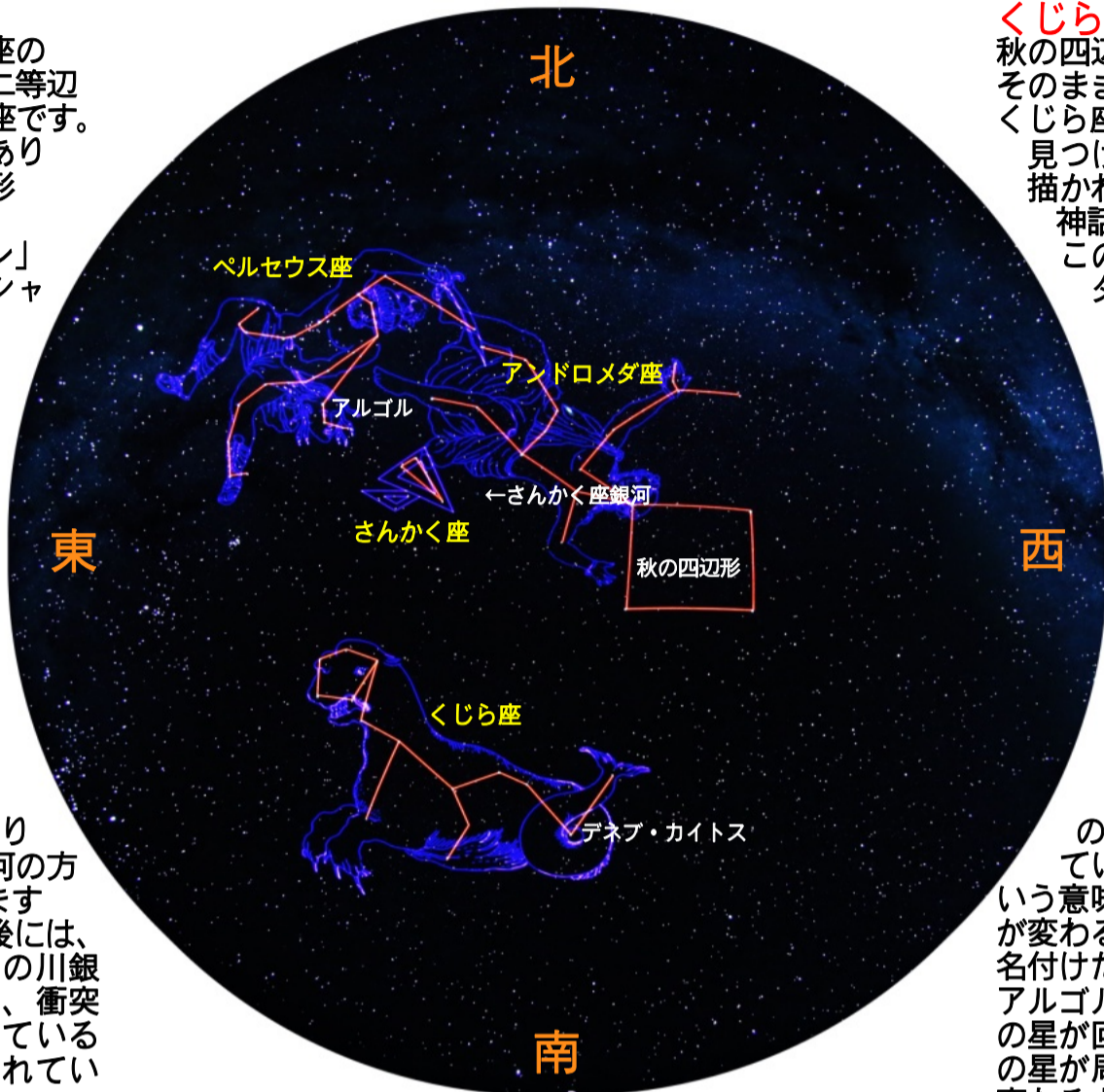
11月の星空

さんかく座

秋の四辺形の北東側、アンドロメダ座の足下あたりに、暗めの星が、小さな二等辺三角形をつくっているのがさんかく座です。三角形の星の並びは夜空にたくさんありそうですが、意外とバランスのいい形となると、そう多くはないようです。古代ギリシャ時代には、「デルトロン」と呼ばれていましたが、これもギリシャ文字δの大文字のデルタ(Δ)の形からきています。さんかく座には、星が渦巻き状に集まったさんかく座銀河があり、双眼鏡でのぞくと、淡い光の広がりを見ることができます。光の中に、渦巻きの濃淡がわかることもあり、秋の星空では、アンドロメダ銀河に次いで、双眼鏡で楽しめる渦巻銀河となっています。アンドロメダ銀河とさんかく座銀河、そして私たちが住む天の川銀河などは、同じ“局部銀河群”という銀河の集団をつくっています。同じ集団といっても天の川銀河からさんかく座銀河までは、光の速さで進んでも約260万年もかかる距離があります。さんかく座銀河は、天の川銀河の方へ少しずつ接近していますので、今から約40億年後には、アンドロメダ銀河と天の川銀河とさんかく座銀河は、衝突して一つの銀河になっているかもしれないと考えられています。



さんかく座銀河



くじら座

秋の四辺形の東側の二つの星をむすび、そのまま空の低い方へのぼしていくと、くじら座の尾に輝くデネブ・カイトスを見つけることができます。星座として描かれているのは、古代エチオピアの神話に登場する化けクジラの姿です。この化けクジラは、王女アンドロメダを襲おうとしたのですが、勇者ペルセウスが持っていた怪物メドゥーサの目を見た途端、石になってしまい、海の底へと沈んでいったということです。

ペルセウス座

ペルセウス座はアンドロメダ座の東側に見つかります。ペルセウス座の左手に怪物メドゥーサの首が描かれていますが、ちょうどメドゥーサの額のところにアルゴルという変光星があります。変光星というのは、周期的に明るさの変わる星のことで、アルゴルは2日と20時間59分の周期で規則正しく明るさを変えています。アルゴルには「悪魔」という意味がありますが、人々は、明るさが変わる星を不気味に思っこのように名付けたともいわれています。実際は、アルゴルは、一つの星の周りをもう一つの星が回っていて、一つ目の星を二つ目の星が周期的に覆い隠すので、明るさが変わるということがわかっています。

GINGA PORT 401内で撮影

十三夜の名月を眺めよう



今年11月1日(水)が「十三夜」の名月です。「十三夜」とは、旧暦の9月13日の名月を眺める、日本独自のお月見の日で、「中秋の名月」の約1か月後の、2回目のお月見であることから、「後の月」とも呼ばれています。少し欠けた月に美しさを感じるのは、日本人ならではの感じ方かもしれませんね。博物館では、当日、市民公園で観望会を行いますので十三夜の名月を眺めに、ぜひお越しください。

10月のガリレオ教室レポート



10月12日に行われたガリレオ教室は「太陽のひみつ」がテーマでした。天文ボランティアによる太陽についての解説の後には、博物館の屋上から、太陽望遠鏡を使って実際の太陽を観察しました。望遠鏡で見た太陽の表面には、プロミネンス(高温のガス体)が見られ、まるで赤い炎が太陽表面から噴き出しているように見えました。当日はお天気も良く、午前と午後、あわせて42人の参加者がありました。



ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

11月のガリレオ教室

〈流星のひみつ〉

11月18日(土)には「しし座流星群」が見られます。そこで、流れ星ってどんな星?流れ星の正体は?など、流れ星について天文ボランティアが分かりやすく解説します。

日時：11月12日(日)
①11時から11時20分
②14時から14時20分
場所：コズミックラウンジ



※ 当日の自由参加 参加無料



★★観望会★★



《博物館主催きらら号観望会》場所：市民公園
①11月 1日(水) 18時から19時30分 栗名月(十三夜)を見よう
②11月25日(土) 17時から18時30分 半月を見よう
《博物館主催流星群観望会》場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所前
11月18日(土) 19時から21時 しし座流星群と秋の星空観望会

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加です。
※流星群の観望会では天文ボランティア主催観望会も同時開催します。
※流星群の観望会ではきらら号は出勤しません。

11月の月

- 4日 満月
- 11日 下弦
- 18日 新月
- 27日 上弦

編集後記

木々の葉も色づき、紅葉の季節になってきました。寒さも増してきていますので、スターウォッチングの時は、暖かい服装でお楽しみください。秋の星空は、明るい星は少ないですが、古代エチオピア王家の神話の登場人物たちが勢ぞろいしています。プラネタリウムでは、星座の見つけ方なども解説していますので、ぜひ、スターウォッチングの参考にしてみてくださいね。